

## 仮想空間 若い感性でデザイン 崇城大でコンテスト



大学生と高校生が制作した仮想空間を競ったコンテスト＝25日、熊本市西区

仮想空間の演出技術を競うデザインコンテストが25日、熊本市西区の崇城大であった。大学生と高校生がインターネット上の仮想空間「メタバース」などの先端技術を使い、若い感性を生かしたメッセージ性の高い作品を披露した。

先端技術を体験・習得し、社会的課題を解決できる人材を育成しようと、崇城大I・T・A Iセンターの主催で3回目。今回から高校生部門を新設し、崇城大生と県内高校生ら計31チーム183人が参加した。

この日は予選を通過するなどした18千

ームが、天井と床以外の360度で仮想空間を映し出せるスタジオに、「生命」など三つのテーマで制作した作品(2分間)を投影。崇城大や熊本市などの審査員8人が、ストーリー性などを評価し、上位8チームを表彰した。

参加者はSDGs(持続可能な開発目標)や環境破壊などをテーマに、3DCGや動画を組み合わせてさまざまな仮想空間を表現。宇宙人が地球を侵略するため世界各地を巡る作品で入賞したチームの田中雅姫さん(崇城大芸術学部2年)は「見る人が楽しく笑ってもらえるようにストーリーや3DCGを工夫した。協力して一つの作品をつくる良い経験になった」と話した。(前田晃志)